

令和9年度開園に向けた 認定こども園開園準備の 進捗状況について



磐梯町教育委員会

これまでの経緯

令和3年から検討を続けてきて
令和6年に基本方針が決定しました。

令和9年に認定こども園を開園することを目指すことが決定するまでには、「磐梯町教育・保育施設再編整備基本構想策定会議」と「磐梯の教育再デザイン構想委員会」の2つの答申を経ています。

また、職員や町民のみなさんとワークショップでの意見交換を重ね令和6年9月に策定した「0-15教育基本構想」をもとに「(仮称)ばんだい認定こども園施設整備計画」を策定しました。



(仮称)ばんだい認定こども園整備基本計画

note



- 多様性と包摂性があたりまえにある世界をつくるために
- ① 0才から5才の子どもたちが混ざる環境をつくる
⇒ 3つの施設(保育所・幼稚園・こども館)を集約する
 - ② 共生社会をつくろうとする人たちの、成長の土台となる
教育・保育を担う

指名競争入札にて 設計会社決定

施設整備計画を策定後、令和6年10月にそれらの内容を提示して「基本設計」受託者を決めるための指名競争入札を行い、設計会社を決定しました。



辺見設計
邊見啓明代表と辺見美津男会長

基本設計を『辺見設計』に
お願いすることが決定しました。



認定こども園開園 準備検討委員会

職員を中心とした 検討委員会を発足しました。

設計会社決定後、職員を中心とした認定こども園開園準備検討委員会を発足しました。月2回程度の頻度でおこなっています。

園庭の広さについては、現在よりは若干狭くになりますが、法定規則の2倍以上の広さを確保できるようにつくる予定です。

また、現在の「遊戯室」と「こども園園舎」は、外通路ではなく「一体的な施設」として繋げる方向で検討中です。

第2回までの検討委員会では、「平屋建て」にすることは決定し、これから間取りや園庭のあり方などにつ



いて話し合っていく予定です。特に園庭については、「運動会」が今まで通りできる平らなグラウンド形式にするか、築山や樹木など自然や野外活動に常に触れることのできる園庭にするかを、保育のあり方も含めた環境設定をどのようにするか話し合っていくことになります。

保護者や町民の方々の声を聴くワークショップも、検討委員会で情報を整理しつつ、再開したいと思っています。その際には是非ともご参加ください。



開園までの 予定について

令和9年開園に向けて 以下のスケジュールで進む予定です。

工事期間中は、子どもたちが安全に過ごせることを前提とし、工事現場を覗けるようにするなど、普段は味わえない時間を過ごせるように工夫してまいります。

	令和6年度												令和7年度												令和8年度														
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
基本計画																																							
指名競争入札																																							
基本設計																																							
国庫補助申請																																							
実施設計																																							
工事入札																																							
建築工事																																							
認可申請・審査																																							
開園準備																																							
町民ワークショップ																																							
開園準備検討委員会																																							